

## Case 30-2019

### A 65-Year-Old Woman with Lung Cancer and Chest Pain

(N Engl J Med 2019;381:1268-77.)

#### 追加の問診事項

- ・ 先行する感冒様症状：なし
- ・

#### Problem List

##### #胸痛

急性の経過で生じた左側胸部の疼痛。左側臥位で増悪し、左前～側胸部の触診で圧痛を呈する。

##### #心筋トロポニン T 上昇

前日の前医救急外来から一貫して高値である。

##### #洞性頻拍

こちらも前日から 110~120bpm の頻拍が続いている。

##### #左室壁運動軽度低下領域の散在

##### #右室肥大

##### #D-ダイマー高値

#### 追加の検査所見

[胸部造影 CT] 左肺門部に直径 2cm の腫瘤を認め、左上気管支を完全に閉塞している。左下葉の腫瘤近傍に斑状の結節影を認める。胸郭に複数の骨溶解性病変を認め、T8 椎体と右第 9 肋骨の病変が特に顕著である。肺塞栓症を示唆する所見はない。